

富士山の火山活動解説資料（平成 29 年 11 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

萩原監視カメラ（富士山山頂の東南東約 18km）による観測では、噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 2 ～ 3）

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。

火山性微動や浅部の低周波地震は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 4 ～ 5）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 富士山 山頂部の状況
(11 月 25 日 萩原監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

今回の火山活動解説資料（平成 29 年 12 月分）は平成 30 年 1 月 12 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、山梨県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

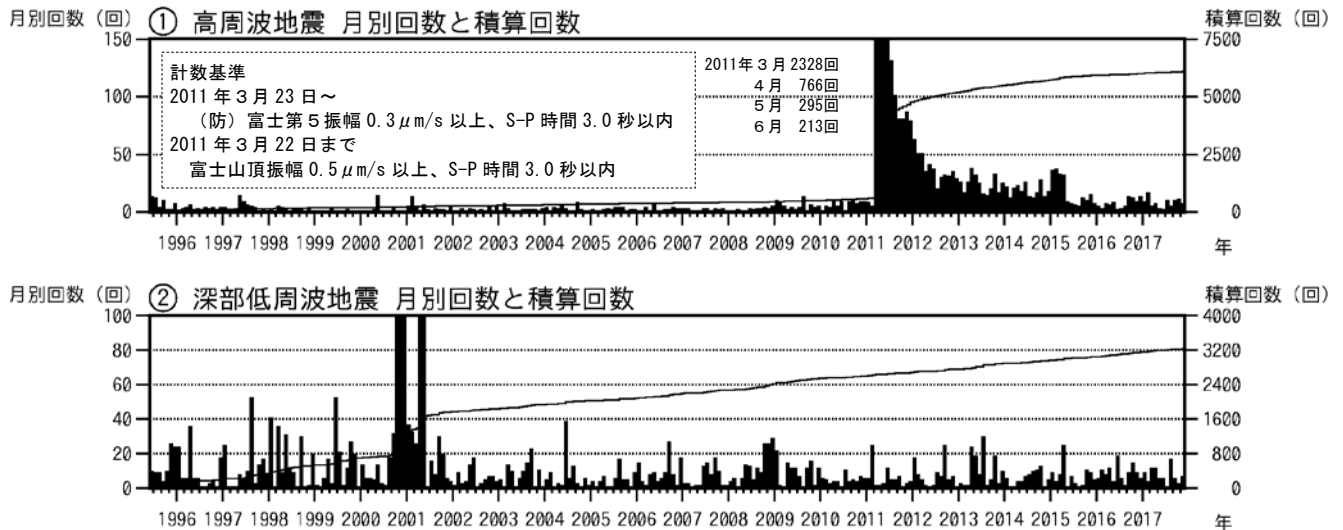


図 2 富士山 月別地震回数（1995 年 6 月 1 日～2017 年 11 月 30 日）

・ 2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生した $M^{2)}$ 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。2016 年以降低調に経過しています。

2) M （マグニチュード）は地震の規模を表します。

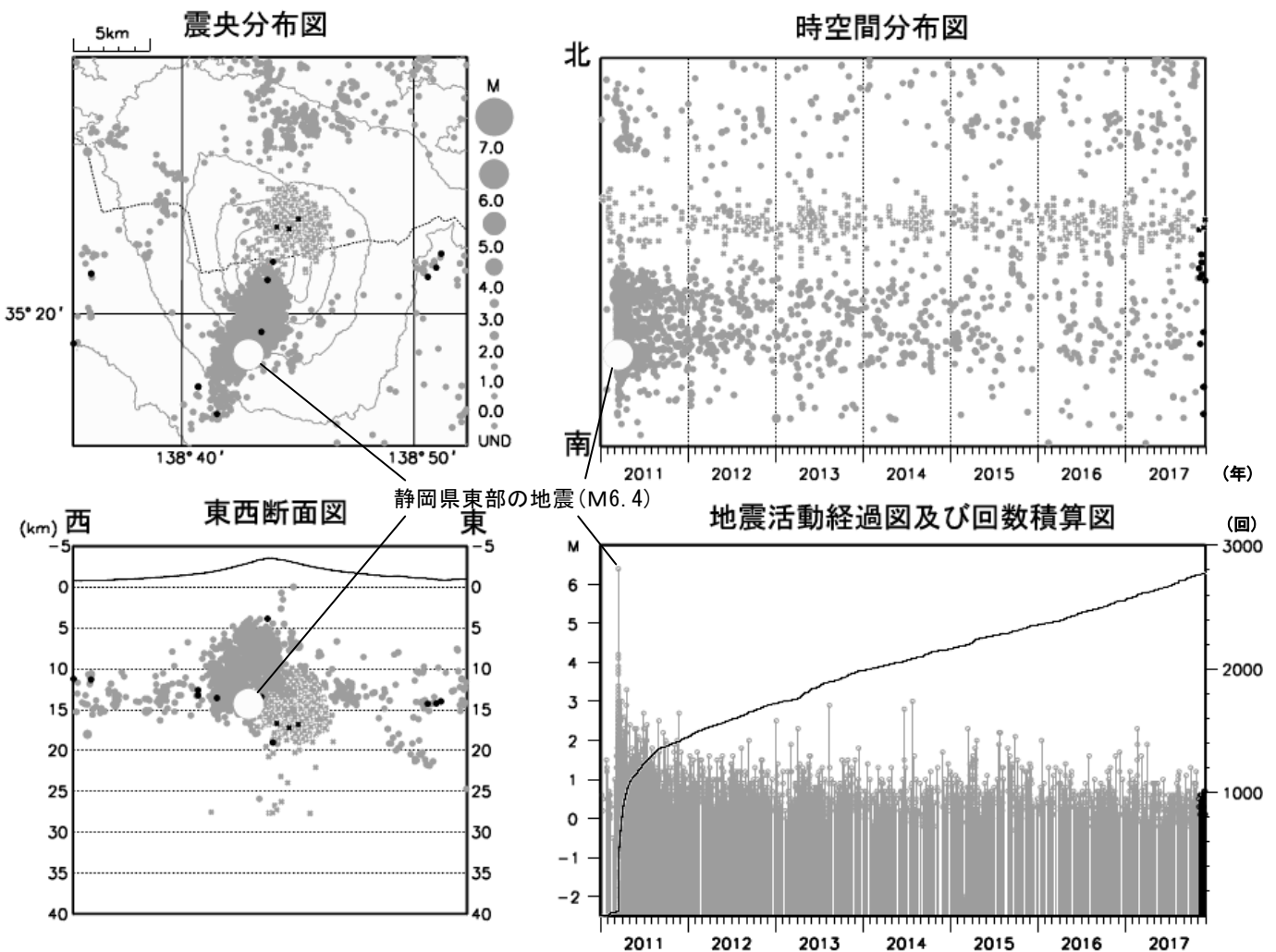


図 3 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011 年 1 月 1 日～2017 年 11 月 30 日）

●：2011 年 1 月 1 日～2017 年 10 月 31 日 ●：2017 年 11 月 1 日～11 月 30 日 ×：深部低周波地震

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

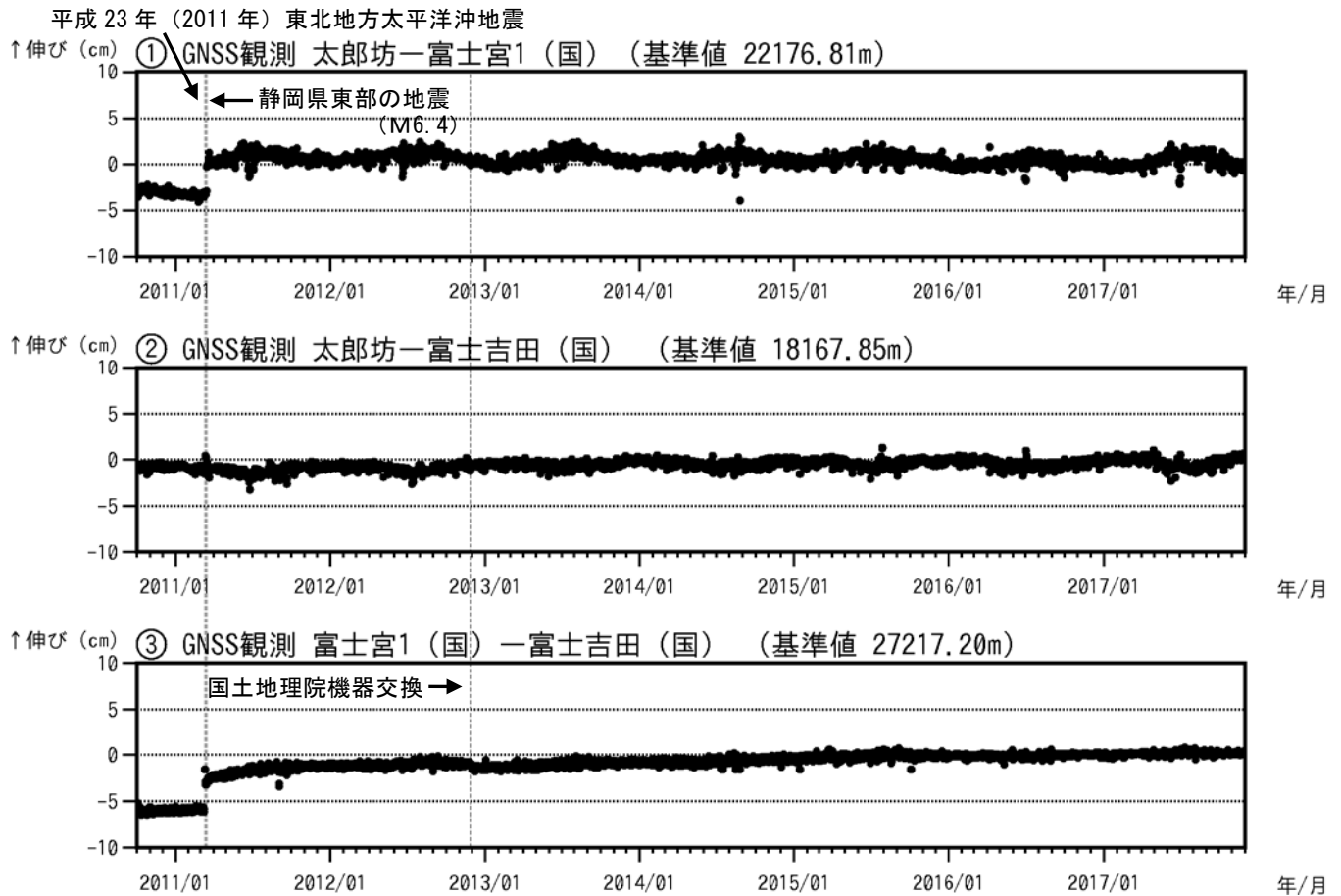


図4 富士山 GNSS 連続観測による基線長変化 (2010 年 10 月 1 日～2017 年 11 月 30 日)
(国) : 国土地理院

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」及び 2011 年 3 月 15 日に発生した静岡県東部の地震 (M 6.4) の影響により、ステップ状の変化がみられます。

①～③は図5の GNSS 基線①～③に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。
2016 年 1 月以降のデータについては、解析方法を変更しています。

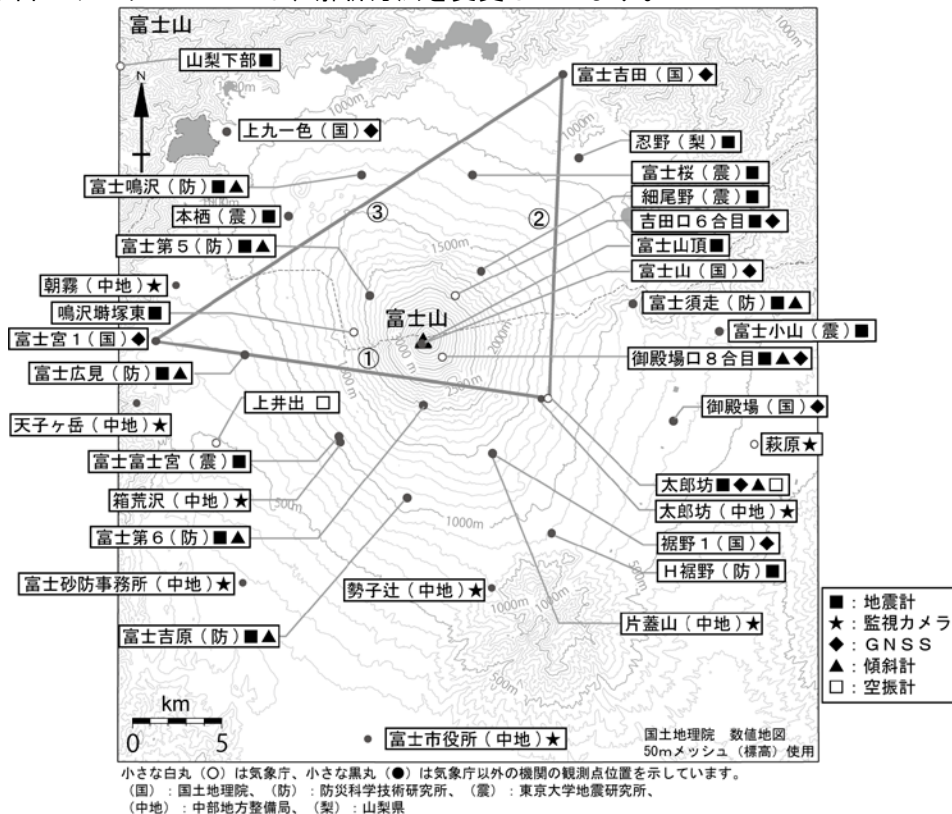


図5 富士山 観測点配置図

GNSS 基線①～③は図4の①～③に対応しています。